

＜報道発表資料＞

カテゴリー:お知らせ

令和7年11月10日

立教大学の学生が知事に政策提言 －埼玉の未来を共に考える意見交換－

令和5年度にスタートした立教大学の学生による政策提言を今年度も実施します。この取組は、若者の感性を県政に生かすとともに、学生に生きた学習の場を提供することを目的としています。

県政は幅広い課題を抱えており、学生たちは県政出前講座の受講や調査活動を通じて、政策研究を進めてきました。今年度は次の2つのテーマについて提言をまとめ、知事と意見交換を行います。

1 政策提言のテーマ

(1) 職員のメンタル不調者を減らすために

「職員間のソーシャルサポートを目的とした部署をまたいで行うスキマヘルプ制度の提案」

「職場のコミュニケーション活性化によるストレス軽減を目的としたコーヒーナップの提案」

(現代心理学部心理学科 松永 美希 教授ゼミ)

(2) 聴覚障害者への理解を促進し、デフスポーツを普及するには

「共創するアート・ラボ-聴覚障害者と健聴者のフラットな対話空間」

(現代心理学部映像身体学科 砂連尾 理 教授ゼミ)

2 日 時

令和7年11月17日（月曜日） 午後1時25分から午後3時5分まで

3 会 場

立教大学新座キャンパス 7号館3階 アカデミックホール
(埼玉県新座市北野1-2-26)

4 主な出席者

埼玉県 大野元裕知事
立教大学 西原廉太総長、篠崎誠現代心理学部長、
指導教員、政策提言を行う学生 16人

5 概 要

- 学生による政策提言及び知事との意見交換
- 知事による全体講評

6 備 考

会場の都合により、当日の参加は、大学関係者及び報道関係者のみとさせて
いただきます。

取材にあたり、自動車で来場を御希望の場合は事前に御連絡をお願いします。
(計画調整課 総括・SDGs推進担当 電話: 048-830-2134)